

#### 45 理療教育卒業生の就労定着を目的とした障害者職業センターとの連携について

福岡視力障害センター 天野光二 工藤葉子 名和宏明 檜崎雅子 山田信也  
桑崎哲治 太田浩之  
福岡障害者職業センター 和田耕治

##### 【はじめに】

2018年から改正障害者総合支援法に基づくサービスとして、就労定着支援が行われるようになるなど、就労をめぐり質の高いサービスの提供が求められている。そこで今回、障害者職業センターと連携して、ある理療教育卒業生の就職後の職場適応・定着のために、配置型ジョブコーチ支援と当センターの卒後支援とを同時に行い、初期から職場適応がスムーズに行えたケースを報告し、今後の就労定着を目的とした関係機関との連携について考察する。

##### 【ケース】

50歳代 男性 全盲 あはき師 高齢者デイサービス施設に就職（機能訓練指導員として）

##### 【ジョブコーチによる支援事項】

- (1) 対象者支援：障害の特性を踏まえた職場の環境整備・コミュニケーション方法の確立
- (2) 事業主支援：障害の特性を踏まえた雇用管理・コミュニケーション
- (3) 家族支援：家族からのサポートの依頼

##### 【当センターによる支援事項】

- (1) 対象者支援：通勤経路の確認、職場内の環境認知、施術業務に関する指導
- (2) 事業主支援：職場適応・定着に係る助言、施術業務に関する情報提供
- (3) その他：視覚障害についての専門的な助言など

##### 【結果および考察】

デイサービスに就職するに当たって不安を抱えた理療教育卒業生に対して、障害者職業センターの配置型ジョブコーチ支援と当センターの卒後支援を同時に行った。その結果、ジョブコーチ支援によって就職に伴う不安感が払拭され、職場内での環境調整も図られ、卒業生及びデイサービス利用者の安全が確保できた。また、視覚障害の特性に配慮したコミュニケーション法の周知により、職場内での視覚障害への理解も進み、初期の職場適応がスムーズに運んだ。なお、通勤経路の確認や職場内の環境認知など視覚障害に関する専門的な支援については当センターが主導するとともに、障害者職業センターに対して視覚障害に関する助言も行った。

当センターの職場適応・定着支援については、時間的な制約もあり必ずしも十分とはいえない面がある。今回、障害者職業センターの専門性を活かしたジョブコーチ支援との連携によって初期から職場に適応することができ、卒業生はもとより事業所の方々にも好評を得た。今回の結果から、障害者職業センターのジョブコーチ支援の専門性と当センターの視覚障害者支援の専門性を活かし、お互いに補完し連携することで、質の高い職場適応・定着支援を提供できることが示された。質の高いサービスを提供するために、必要に応じてさまざまな関係機関との連携を推進するとともに、今後は、地域の関係機関に対して当センターの視覚障害に関する専門的な知見を普及させることによる相乗的な支援効果の拡大につなげたい。